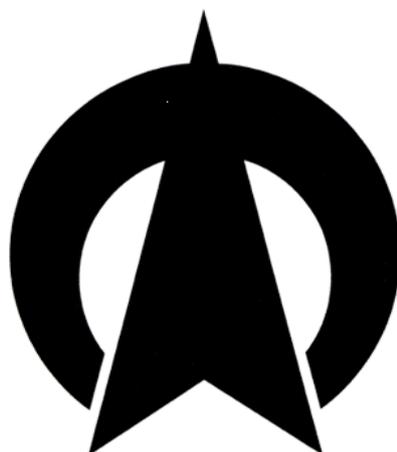


令和6年度都市計画基礎調査

大町都市計画

大町市

令和6年度都市計画基礎調査



大町都市計画

大町市

大町市の概要

長野県の北西部、松本平の北に位置する大町市は、3,000メートル級の山々が連なる北アルプスの山脈の麓に位置し、清冽な雪解け水と澄んだ空気、四季折々の景観に恵まれ、黒部ダム、立山黒部アルペンルート of 長野県側の玄関口として、多くの観光客で賑わう山岳観光都市です。

人口は約2万5,000人、北の白岳から南の槍ヶ岳頂上までを収め、市街地の標高は700メートル余りの典型的な内陸性の気候で、青木湖、中綱湖、木崎湖の三つの湖が連なる仁科三湖や、豊富な温泉、国宝仁科神明宮や全国でも珍しい子供による流鏝馬（やぶさめ）が行われる若一王子神社など豊かな自然と文化の風薫る地です。

平安の中期から戦国時代に仁科氏が領有していた頃から、北方糸魚川方面とを結ぶ「千国街道（通称：塩の道）」に沿って発展し、海産物をはじめ多くの物資が流通した。

江戸時代に入ってから、経済交通上の中心地となり、これらの物資や地場産の麻類等の集散地でもあった。このような歴史的変遷から宿場町が形成され、農林業、養蚕業、商業等によって幕末、明治を経て栄えてきた。

大正末期には、高瀬川の豊富な水を利用した電力開発が行われ、昭和時代に入って電力依存度の極めて高い昭和アルミニウム工業所（現在の（株）レゾナック・グラフィート・ジャパン）などが進出し、県下最大の工業地として雇用も促進された。

昭和39年に黒部ダムが観光地として開放され、昭和46年には立山黒部アルペンルートが全線開通し、また葛温泉からの引湯によって大町温泉郷・木崎湖温泉郷が形成され、宿泊拠点として内外に脚光を浴びた。

更に、昭和53年に東洋一のロックフィルダムといわれる東京電力七倉・高瀬ダムが竣工し、同60年には大町ダムが完成して高瀬溪谷は自然と人工の見事な調和の下に、創造的自然の開発という新たな基盤をもたらした。

昭和29年7月に「大町」「平村」「常盤村」「社村」が合併し大町市としての市政が発足し、さらに平成18年1月に「美麻村」「八坂村」を編入合併し、令和6年7月に市制施行70周年を迎え今に至っている。

今回の調査は、大町市全域を対象とし、都市計画基礎調査実施要領（令和5年6月国土交通省都市局）及び都市計画基礎調査実施要領（調査様式）（令和6年4月長野県建設部都市・まちづくり課都市計画係）に基づき、人口については令和2年国勢調査データを採用、その他の項目については、直近の各種調査データを採用し、実施したものである。

目 次

大町市の概要

調査結果

1. 人 口

C0101-1	人口総数及び増加数	1
C0101-2	年齢・性別人口	2
C0102	D I D	4
C0103	将来人口	5
C0104	人口増減	7
C0105	通勤・通学移動	8

2. 産 業

C0201-1	産業大分類別就業者数	13
C0201-2	職業大分類別就業者数	18
C0202-1	事業所数・従業者数・売上金額	19
C0202-2	産業中分類別工業出荷額	22
C0202-3	産業中分類別商業販売額	26
C0202-2	産業中分類別工業出荷額の推計	28
C0202-3	産業中分類別商業販売額の推計	29

3. 土地利用

C0302	土地利用現況	31
C0304	宅地開発状況	33
C0305	農地転用状況	35
C0307	新築状況	37
C0308-1	都市計画に関する条例・要綱等	38
C0308-2	建築協定・緑地協定	39
C0308-3	地区計画等	39
C0308-4	地域地区	40

4. 建 物		
C0401	建物用途別現況	41
C0402	建物階数別・構造別・建築年別・高さ別現況	41
5. 都市施設		
C0501	都市施設の位置内容等	46
6. 交 通		
C0601	主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	47
C0603	鉄道・路面電車等の状況	50
8. 自然的環境等		
C0803	緑の状況	51
ま と め		52

※本調査の項目名称、項目番号は、都市計画基礎調査実施要領（調査様式）（令和6年4月長野県建設部都市・まちづくり課都市計画係）の指示するものである。